









主治医氏名		小山 賢介 印		病室			
主治医以外の 担当者氏名	担当医師	若生政憲 高山義裕		管理栄養士	荒川 元喜		
	看護師長			リハビリテーション部	小尾 伸二		
	担当看護師			【患者または代理者同意署名】			
病名				年 月 日 氏名			
症状		膝関節痛・歩行困難・その他 ( )		*代理署名の場合 患者との続柄 ( )			
特別な栄養管理の必要性		( あり ・ なし )					
推定入院期間	入院日 ( / )	手術当日 ( / )	手術前	手術後	手術後1日目 ( / )	手術後2日目 ( / )	手術後3.4日目 ( / ~ / )
注射・内服	入院中に薬剤師が薬剤指導を行い、薬剤師による注射薬・内服薬についての説明があります	手術前に点滴や注射をすることがあります	手術後、抗生剤の点滴をします。手術室より痛み止めの点滴が持続的についできます	抗生剤の点滴をします 	抗生剤の点滴をします。点滴終了の予定です	特にありません	
	お薬手帳の確認を行います	手術当日医師の指示により看護師がお渡しする薬だけを飲んで頂きます	特にありません	手術前に飲んでいた飲み薬を再開します。痛いときには痛み止めの薬がありますので、我慢をしないで看護師に声をかけてください	夕食後から血栓の予防の薬を内服します	朝食後から化膿止めの薬を内服します	
検査	採血をします	特にありません	手術室で採血をします 	採血をします 	採血をします 	特にありません	
処置	特にありません	手術に行く前までに血栓予防のために弾性ストッキングの装着を行います	弾性ストッキングの上にフットポンプをつけて帰宅します。弾性ストッキングは歩行が安定するまで続けます。創より血の管が入ってくることもあります	一日一回弾性ストッキングの履き替えをします	トイレに行けるようになったらフットポンプを外します。血の管が入っている場合には血の管を抜きます	創部の確認をします	
教育・説明・指導	病棟の設備や手術前や後の流れについて説明を行います。手術前日の午後に麻酔科の受診があります【手術必要物品】T字帯・水のみ又はストロー	手術について不明点がないか確認を行います。わからないことがあったら看護師に相談してください	手術後は体温や血圧、脈拍、創部、足の動きの観察などを行います。痛み止めの点滴が入ってくる際は看護師が使い方を説明します	退院まで、体温・脈拍・血圧・創部の観察、足の動きなどの確認を行います	リハビリ室での移動をお手伝いします。週末はリハビリでの状況に合わせて、病棟リハビリを行います		
安静度	とくに制限はありません。転倒しないように靴の着用をしてください。病棟を離れる際には看護師に伝えてください		ベッド上安静です。体の向きを変えることはできますので看護師がお手伝いをします	血の管が入っている場合はベッド上安静になります。入っていない場合は車椅子に移動することができます。移動する時には看護師がお手伝いをします	車椅子への移動ができます。	リハビリの進行状況によって、行動範囲も拡大します	
食事	手術前日の24時以降は摂食禁止となります	麻酔科の指示により水分制限があります。手術の日は食事はできません	手術後おなかが動き始めたら、お水が飲めます。看護師がお手伝いします	朝から食事が出ます。医師の指示がなければ食事の制限はありません			
排泄	歩けない方は車いすでトイレに行けるようにお手伝いします 		尿の管が入ってきます。排便があるときはベッドの上で排泄となるので、看護師がお手伝いします	尿の管が入っています	尿の管を抜く予定です。トイレに行くときには車椅子でお手伝いをします 	車椅子への移乗が安定していたら、看護師より一人でトイレに行ける許可が得られます	
清潔	シャワー浴をします。爪が伸びているときには看護師に声をかけてください	特にありません	特にありません	陰部を洗い、体拭き、病衣の交換をします 	体調に合わせて体を拭いていきます	シャワー浴は体調と創部の様子で開始となります	
リハビリ	特にありません	特にありません	特にありません	場合により、リハビリが開始することがあります	リハビリが開始となります。病棟で足の曲げ伸ばしの機械を行います。退院の日まで1日1回1時間行います	週末はリハビリがお休みになるので病棟でできることを行います 	
その他	なし	なし	膝が腫れるのを軽減するためにアイスノンで冷やします				

\*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。  
 \*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。  
 \*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

推定入院期間	術後5.6日目 ( / ~ / )	術後1週目 ( / ~ / )	術後2週目 ( / ~ / )	退院 (術後3週目 / )
注射・内服	特にありません 血栓予防の内服をしています	特にありません 手術後10日頃に静脈血栓症予防の薬は終了します	特にありません	特にありません 薬剤師が退院後の薬剤指導を行います。退院時に必要な薬があれば医師、看護師に相談してください。
検査	特にありません	採血をします。膝関節のレントゲンを撮ります 	採血をします。膝関節のレントゲンを撮ります。下肢の超音波の検査をします 	特にありません 
処置	創部の確認をします	創部の確認をします	退院後、自己で創部の観察ができるように説明を行います	
教育・説明・指導	創部の観察が自分でできるように説明を行います		退院日を決めます	退院に向けた日常生活での注意点や傷の観察の方法など退院指導を行います。不明な点があるときには担当医師や看護師にお尋ねください。退院の日に次回受診日の再診票を渡します
安静度	リハビリの進行状況によって、行動範囲も拡大します			退院後の生活での注意点や膝関節に負担のかかる動作など説明を行います
食事	医師の指示がなければ食事の制限はありません。			
排泄	リハビリの状況に合わせて歩いてトイレに行くこともできます。			
清潔	リハビリの状況により、車椅子または歩行器で歯磨き、シャワーなど退院後の清潔に向けた活動ができるように支援します。			
リハビリ	歩行器などの補助具を使用して歩く練習を始めます。関節可動域訓練・筋力強化訓練を行います。	歩行器やT字杖、ロフトランド杖など補助具を使用して歩く練習を行います。筋力訓練を行います。階段の上り下りの練習も行います。 	歩行器やT字杖、ロフトランド杖など補助具を使用して歩く練習を行います。筋力訓練を行います。階段の上り下りの練習も行います。退院に向けて床からの立ち上がりなど日常生活の動作の訓練を行います	退院後も自分でできるリハビリを覚えましょう
その他	なし	なし	なし	退院の日は午前10時までに退院となります。お会計は退院日に支払うか、誓約書となります。

\*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

\*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

\*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。